

# 国分中学校 校長室だより

第 12 号  
令和 3 年 3 月 24 日

新型コロナウイルスによる臨時休校により、4月7日または5月12日から5月14日に出会ったクラス仲間と過ごすのも、今日が最後の日となりました。それぞれのクラスでの生活はどうでしたか。一緒に過ごしたクラスのみなさんのために、クラスの誰かのために、どのようなことができましたか。自分らしい音色を奏でられましたか。また、1年前の自分と比べると、どのような成長がありましたか。一度、振り返ってみてください。そして、4月8日には新たな決意を抱いて、新たな旅立ちを迎えましょう。



## 外は寒く、心はあたたか



2月18日に1年生の校区フィールドワークを行い、校区内の遺跡である田辺廃寺跡、聖武天皇の命令で建立された河内国分

寺跡、全長130mの前方後円墳である松岳山古墳をめぐりました。悠久のロマンを感じながら、校区内の新たな発見や再発見はあったでしょうか。

また、田辺廃寺跡では、春日神社の宮司さんのご厚意で収蔵庫を見せていただき、説明もしていただきました。さらに、門を出るときには、2,3年生から「行ってらっしゃい」と声をかけてもらいました。フィールドワーク中は「大丈夫」「もう少し」と声をかけ合ったり、荷物を持ってあげたり、倒れた先生の自転車を起こしてくれたり、みなさんのあたたかさを感じたひとときでした。



## 日本を勇気づける名曲メドレー

3月8日に、吹奏楽部がお別れコンサートを行いました。卒業式と公立高校入学者選抜を控えた3年生を、そして、新型コロナウイルスで新しい生活様式になったみなさんを、勇気づける応援ソングを集めたメ



ドレーを演奏してくれました。先生自身の話になりますが、結婚式当日に、吹奏楽部の生徒たちが生演奏してくれた曲を含め、懐かしい曲がたくさんあり、とても勇気づけられ、元気をもらいました。吹奏楽部のみなさんありがとうございました。

また、演奏終了後に片づけを手伝ってくれた野球部のみなさんありがとうございました。

## 新たな取組み!!

3月1日に、オンライン会議用ソフトを使用し、Smileキャンペーンの振り返りを行いました。今年、新型コロ



ナウイルスの影響で、放送で集会を行っていましたが、今年初めて発表者の顔を見て行うことになりました。発表者の真剣な眼差し、食い入るようにスクリーンに向かう姿を見ると、改めて目と目を合わせて話をする大切さを感じました。準備していただいた先生方、発表者のみなさん、しっかり聞いてくれた皆さん、ありがとうございました。



タブレットパソコンを使用した授業



図書委員会が開催したPOPバトル in Kokubu J. H. S のポップ

## 答辞にこめられた想い

今年の卒業証書授与式は、新型コロナウイルスの影響で、在校生は1名のみ参加となりました。しかし、答辞には1,2年生へのメッセージがたくさん含まれていましたので、紹介します。「お世話になった先輩方への恩返しのために何ができるのか」をしっかりと考え、たくされたバトンを受け継ぎましょう。



## たくされたバトン

在校生のみなさん。私たちに力を与えてくれてありがとうございます。先輩として、信じてくれてありがとうございます。みなさんがいてくれたからこそ、私たちは最高学年としての自覚を持ち、頑張りが続けたことができました。今、私たちから在校生のみなさんへ、国中のバトンをつなぎたいと思います。

## 受け継ごう 3年生の学び

たくさんの行事などをとおして、学べたことがあります。

1つ目は、周りとの協力することの大切さです。行事をしていく中で、どうしても1人ではできないことがたくさんありました。そんなときは、班やクラス、学年が1つになって協力して乗り越えてきまし

た。こうした経験から、協力し、団結することで乗り越えられることがあることを学びました。

2つ目は、自分で考えて、素早く行動することの大切さです。宿泊学習や校外学習、修学旅行などでは、決められた行程の中で行動します。そのときに、一人ひとりがみんなのことを考え、みんなのために時間を見て素早く行動する必要があります。私たちは3年間かけて、自分で考えて、素早く行動することができるようになりました。

また、朝学活や終学活、授業などで行っていた班活動。班で様々な人と交流することで、互いを知ることができ、コミュニケーション能力を高めることもできました。みなさんの前で手を挙げて意見を言いくい人でも、班の中では意見を言える人がたくさんいました。だから、私たちにとって班は、誰もが安心して居場所でした。



